

# リンドウの早期出荷のための半促成栽培

福島県農業試験場会津支場

平成13年度福島県農業試験場試験成績概要

## 1 部門名

花き—リンドウ—作型・栽培型

分類コード 05—25—01041800

## 2 担当者

菅野清・小林祐一・浅沼顕

## 3 要旨

リンドウの「ふくしまかれん」、「福島交3号」、「尾瀬の夢」の3品種を用いて、無加温パイプハウスの三重被覆による半促成栽培について、被覆開始時期を12月25日、1月31日、無被覆の区を設定して検討した結果、以下の結果を得た。

- (1) 「ふくしまかれん」では、無被覆区の収穫時期が9月下旬から10月上旬であったのに対し、被覆を12月25日に開始した区と1月31日に開始した区では、どちらも9月上旬から中旬にかけての収穫となり、2～3週間程度の開花前進となった。
- (2) 「福島交3号」では、無被覆区の収穫時期は7月中旬から8月上旬であり、収穫盛期は7月下旬であった。それに対し、12月25日被覆開始区では6月上旬から7月上旬までが収穫期で、収穫盛期は6月下旬となった。1月31日被覆開始区では6月上旬から7月中旬までが収穫期で、収穫盛期は7月上旬であった。これは、無被覆区と比較して4～5週間程度の開花前進となった。
- (3) 「尾瀬の夢」でも「福島交3号」と同様に、無被覆区と比較して被覆区では4～5週間の開花前進となった。
- (4) このように、無加温パイプハウスによる半促成栽培は開花前進効果が認められた。また、被覆開始時期については、12月25日開始区の方が開花期が早まる傾向が見られた。しかし、その差はあまり大きくなく、早くに被覆を開始した場合の除雪の労力を考えると、1月31日被覆開始でも十分開花前進効果があると考えられた。

## 4 その他の資料等

なし